

ユースケース名 人材育成のためのTrustedな学修情報流通システム

事業者名/
コンソ・代表団体名 人材育成のためのTrustedな学修情報流通システム開発コンソーシアム（富士通Japan株式会社）

事業概要

<背景> 人生100年時代やSociety 5.0の到来、雇用の在り方の変化など、何歳になっても学び直し、変化に対応するための知識やスキルを身に付け、チャレンジし続けることが可能な社会の実現が求められています。この学び直しの拡大に向けて、文科省や経団連は、教育と就労のサイクルの重要性を提唱しています。しかしながら、学び直しはまだ社会に浸透しているとは言い難い状況です。例えば各国の25歳以上の大学入学者の割合においては、OECD平均が16.6%に対して、日本は最低レベルの2.5%となっており、その理由として、企業が求める知識やスキルが不明確であったり、自身に合う適切な学び直しの機会がわからない、などの背景が考えられます。そこで、この状況を変革するために、企業が求める人材とのマッチングや、キャリアアップ・能力開発に必要な教育とのマッチングのニーズが高まっています。

<目指す姿> マッチングを実現するためには、個人の学修成果や保有スキルのTrustなデジタル情報流通の仕組みが不可欠です。我々は、企業や大学等教育機関、社会人、学生が保有するTrustな情報に基づいて、相互に連携できるプラットフォームの創出を目指します。TrustedWebの仕組みにより、企業の人材需要と個人の学修成果や保有スキルなどのデジタル情報の流通を、利用者主体で安心・安全に、簡易に実現します。各ステークホルダーをこのプラットフォームでつなぎ、情報の確認作業を高信頼かつ効率的に実行可能にすることで、マッチングのプロセスのハードルを下げます。自身のスキルや経験をマッチングに活用し、さらにこの仕組みで蓄積される学習情報を様々なサービスで利用することで、新たな教育機会の創出につながっていきます。

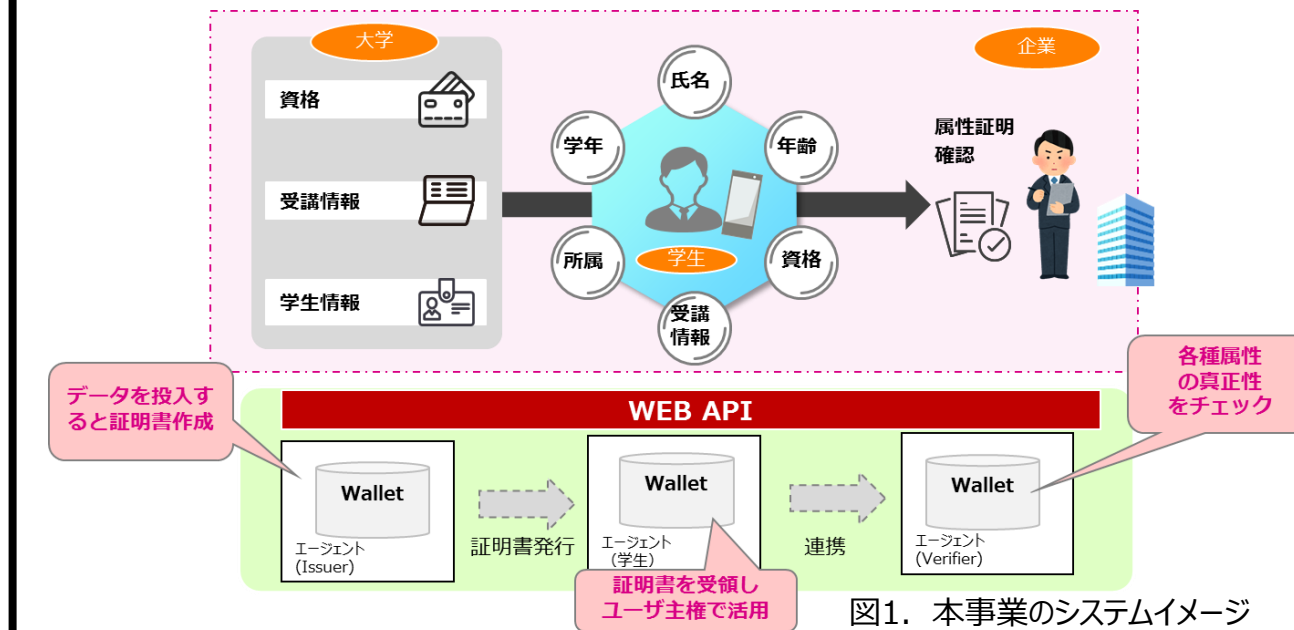


図1. 本事業のシステムイメージ

<本事業で実施する内容> 目指す姿に向けて、ファーストステップとなる今回の事業では、学生の大学生活における様々な活動や学修成果等の情報を証明書化し、学生自身がアプリ上でデジタルに管理、地域や社会と容易にやりとりできるシステムのプロトタイプを開発します。そしてユースケースとして就職活動における活用を実証します。就職活動やインターン時の卒業・在学証明、成績等の属性情報のやり取りを検証します。実証に当たっては、関西学院大学（学部学生数約24,000人）より、システムのテスト利用やフィードバックの提供などのご協力をいただく予定です。

<教育業界の課題解決> 今回のTrustedな学術情報流通システムの仕組みは、さまざまなユースケースへの適用が可能と考えます。知識取得を評価する入試制度から、社会的な取り組みや活動を評価する入試制度への見直し、全国学力調査結果などの学びに関する個人情報さらなる利活用などに貢献できると考えます。また、学び直しのニーズが高まる中、今後、大学が担う役割はますます重要になると考えます。Trustedな教育マッチングの仕組みで、大学がより効果的に教育プログラムを提供し、学び直しの拡大、ひいては労働力の向上に貢献できると考えます。